

科目名称	フィジカルアセスメント	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	30
担当教員	堀内 麻希	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

医療の高度化・専門化に伴い、自律性の高い看護実践や急性期医療、在宅医療に要する系統的な観察の基礎的知識および正常・異常の判断をし、評価する技術を習得する。

【2】学習目標

1. フィジカルアセスメントの概念が分かる。
2. バイタルサインの正しい測定方法が分かり、実施できる。
3. 呼吸器系のフィジカルイグザミネーションが正しく行える。
4. 循環器系のフィジカルイグザミネーションが正しく行える。
5. 腹部のフィジカルイグザミネーションが正しく行える。
6. 脳神経系における重要なフィジカルイグザミネーションが正しく行える。
7. 運動器系のフィジカルイグザミネーションが理解できる。
8. フィジカルイグザミネーションで得られた情報をアセスメントに活かすことができる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- ☒ 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- ☒ 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- ☒ 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- ☒ 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- ☐ 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- ☐ 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- ☒ 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心をもち、主体的に学び続けることができる。

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	フィジカルアセスメント概念	講義
2	フィジカルアセスメントスキル	講義
3	バイタルサインの観察とアセスメント ヘルスアセスメントに必要な計測	講義
4	呼吸器のフィジカルアセスメント	講義・演習
5	呼吸器のフィジカルアセスメント	講義・演習
6	循環器のフィジカルアセスメント	講義・演習
7	循環器のフィジカルアセスメント	講義・演習
8	筋・骨格器系のフィジカルアセスメント	講義・演習
9	筋・骨格器系のフィジカルアセスメント	講義・演習
10	腹部のフィジカルアセスメント	講義・演習
11	神経系のフィジカルアセスメント	講義・演習
12	感覚器その他のフィジカルアセスメント 重要なフィジカルイグザミネーションのスキルチェック	講義・演習
13	感覚器その他のフィジカルアセスメント 重要なフィジカルイグザミネーションのスキルチェック	講義・演習
14	筆記試験【45分】	講義・演習・試験
15	シミュレーション実技試験	

【5】評価方法

筆記 シミュレーション実技試験

【6】教科書

茂野香おる：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学(2)基礎看護技術Ⅰ（第19版）医学書院 2025（電子版）
 山内豊明：フィジカルアセスメントガイドブック(第3版) 医学書院 2025

【7】参考書

【8】受講生へのメッセージ

- 1.動きやすい服装、特に胸部の観察が行いやすい服装で参加してください。
- 2.フィジカルアセスメントガイドブック・聴診器は毎回持参してください。
- 3.パソコン・プロジェクター・マイクは教室・実習室に関わらず、毎回準備してください。